

保健体育科 3年

体育分野 ダンス～演舞を習得して、伝統を引き継ごう～

担当 木梨 祐司

【活動の目標】

集団として統制の取れた動きを身につけ、演舞を通して附中の伝統を表現する。

【 問 い 】

- ・演舞を習得するために、各動作で押さえるべきことはどんなところだろう。(問いの工夫Ⅰ)
- ・後輩に演舞を引き継いでいくために、指導するポイントを確認しよう。(問いの工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
B1 個に応じた学習 過去の演舞の動画を各学級の classroom に収めて、個人で動画を確認できるようにした。また、個別のワークシートを用いて活動の記録と振り返りに取り組んだ。	過去の動画を見るのは演舞の指導リーダーのみで、そこから全体に指導する形を取っていた。また、取り組みの様子のみで評価をせざるを得なかった。
C2 協働での意見整理 演舞の指導リーダー（応援団）を中心に動きを確認しあい、その後の全体活動が円滑に進むようにした。その際に、出席できなかった生徒が家庭からのリモートで参加するなどした。	口頭や身振りのみで指導をする形が基本となる。全体の動きを撮影してもらい、活動後に指導リーダーを中心に見直しをするようにしていた。

【資料】①生徒が取り組んだワークシート



②クラスルーム動画



③指導リーダーのリモート打ち合わせと演舞練習



【ICT 機器を活用する良さ】

- 動画で過去の映像をいつでも見返すことができることで、個人での練習や全体のイメージを持つことができた。
- 紙媒体ではなくデジタルワークシートにすることで、取り組みの様子を経過観察ができる。その都度回収しなくても良くなった。
- 出席できない生徒もリモートで意見交換ができた。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・動画の取り扱いと管理を徹底する。
⇒ダウンロード不可の設定をし、取り扱いについてもネットモラルの指導と並行して行った。
- ・評価についての基準を明確にする。
⇒取り組みの様子とワークシート、さらに後日に共通の演舞をスキルテストとして実施。それらから総合的に評価をする。